主催者取扱説明書をよくお読みいただいた上で、会員カードシステムをご利用ください。

2011.5.1 改定

会員カードシステム
主催者取扱説明書

1. 会員カードシステムの概要

■会員カードシステムは、日本放射線技術学会の正会員・学生会員を対象に、総会・秋季学術大会ならびに地方部会、専門分科会が主催する各種セミナーに出席された履歴をサーバへ登録し、その情報を管理・閲覧できるシステムです。

■会員カードシステムへの管理者（ここでは学会・セミナー等の主催者）としてのログインは以下の URL にアクセスしてください。図 1 はログイン直後の管理トップページです。表示されるボタン（利用可能な機能）は権限によって異なります。

http://www.jsrt.or.jp/cardsystem/kanri.html
（左側ボタン　管理者用ログインへ）

図 1　会員カードシステムの管理トップページ

■学会・セミナー等の主催者は管理者権限により、以下の管理業務が会員カードシステム管理者ページにてご利用いただけます。

1）　学会・セミナー等の登録・修正
2）　出席記録仮カードの印刷
3）　会員カード読取ソフト（バーコード読取ソフト）のダウンロード
4）　学会・セミナー等　出席履歴データのアップロード
5）　会員出席履歴の修正
　　以上（1～5）の機能は、図 1 のページからご利用いただけます。
6）　会員データ検索・集計

7） ポイント検索・集計

以上（6～7）の機能は、図 2 のページからご利用いただけます。表示されるボタン（利用可能な機能）は権限によって異なります。

http://www.jsrt.or.jp/cardsystem/kanri.html

（右側ボタン　データ集計用ログインへ）

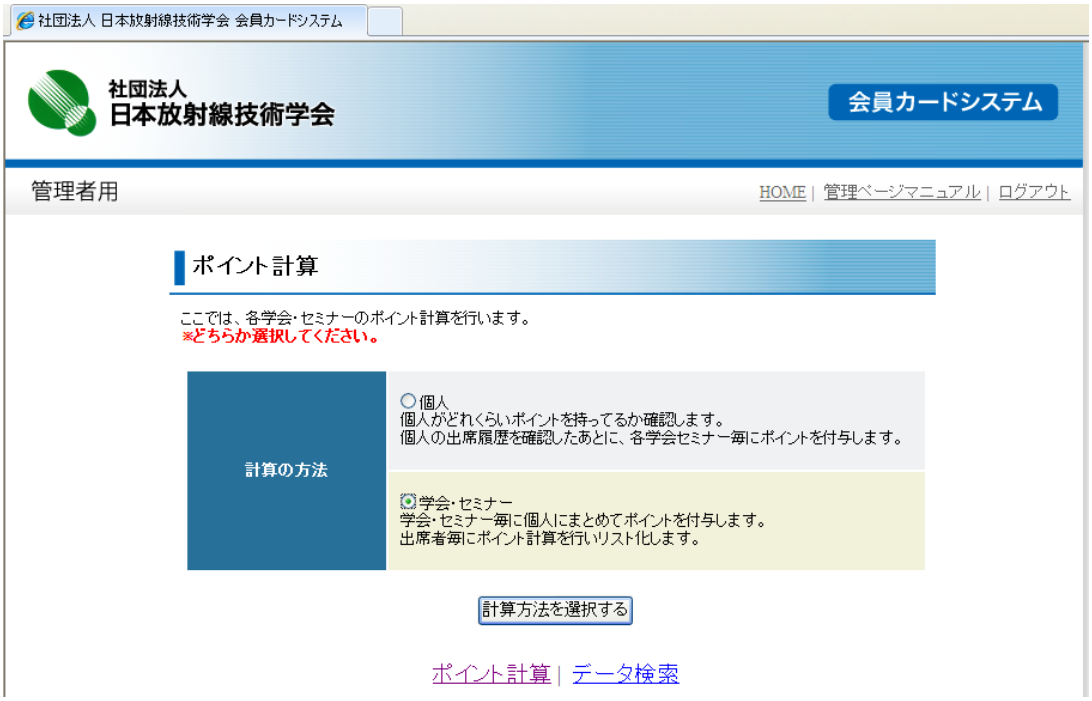


図 2　会員カードシステムのデータ集計用トップページ

※会員カードシステムでは「出席者名簿」は作成できますが、勤務先（所属）の表示や非会員の名簿管理はできません。学会・セミナー等の開催において、参加者名簿を管理される場合には、従来通りの芳名録（参加者名簿）や領収書の準備を主催者の判断のもとお願いします。

2. 管理者権限

1） 管理者権限は、8 地方部会、7 専門分科会、大会開催委員会、学術委員会に学会事務局より管理者 ID およびパスワードを付与します。

2） 管理者権限の取扱いについては、各団体に一任しますが、慎重な運用にて対応をお願いします。

3. 準備する機材・備品

1） バーコードリーダ接続用 PC

以下の動作環境の PC を準備してください。バーコードリーダ一台につき、PC 一台が必要です。（およそ 100 名程度のセミナーでは、バーコードリーダ＋PC の 1 セットで対応可能ですが、バックアップの意味でも 2 セットの準備をお勧めします。）

○ Windows OS

* Pentium III 1GHz クラス以上のプロセッサおよび 512MB 以上の RAM、または Pentium 4 2GHz クラス以上のプロセッサおよび 1GB 以上の RAM（2GB 以上を推奨）、または同等以上のプロセッサおよびメモリ

* Windows 7 Home Premium、Business、Ultimate、または Enterprise（64 ビット版）、Windows Vista SP1、Windows XP Tablet PC Edition SP2 および SP3、Windows XP SP2 および SP3、Windows 2000 SP4、Windows 2003 Server

○ Mac OS

* Core Duo 1.83GHz クラス以上のプロセッサ、または PowerPC G4 1GHz クラス以上のプロセッサ、および 512MB 以上の RAM
* Mac OS X 10.4.11、または Mac OS X 10.5.4、10.5.5、10.6

2） バーコードリーダ

学会事務局にて 14 台、地方部会に 2 台ずつ保管していただきます。
（バーコードリーダの型番：Z-3051HS-U）

3） 出席記録仮カードの印刷用紙

バーコードの読み取りを確実に行うため、以下に推奨する用紙をご使用ください。

・ レーザープリンタ推奨印刷環境
　　レーザープリンタ用のコート紙またはマット紙（印刷品質 きれい）
・ インクジェットプリンタ推奨印刷環境
　　エプソン：スーパーファイン紙（印刷品質 きれい）
　　キヤノン：普通紙 ホワイト両面厚口（印刷品質 きれい）
・ その他、上記と同等の上質紙をご使用ください。

4. 開催時の運用手順

※【　】内の表記は、会員カードシステム管理者ページのボタン名を表しています。

1） 学会・セミナー等の登録・修正**【学会登録】【学会情報変更・削除】**

学会・セミナー等の情報を開催前日までに登録してください。登録内容は、①学会・セミナー等の名称※1、②主催者団体、③日程※2、④予定開催時間※3,4、⑤概要※5、⑥共催※6、⑦後援※6 等となります。

※1 学会雑誌の会告等に掲載されている正式な名称を入力して下さい（図 3 ①）。

※2 複数日開催の場合は、すべての日程を入力して下さい。図 3 ③は、3 日間連続開催の入力例です。

※3 入場時のみ会員カード読取で出席管理する場合には、④予定開催時間を入力してください（図 3 ③ 一段目のように○○時間○○分まで入力しないと登録されませんのでご注意ください）。この場合、入場時刻に予定開催時間を加えた時刻が退場時刻として自動記録されます（退場時に会員カード読取は必要ありません）。出席時間は常に予定開催時間と同じになります。誤って入場時に 2 回会員カードを読み取らせた場合でも、予定開催時間が出席時間として記録されます。

※4 入場時・退場時ともに会員カード読取で出席管理する場合には、④予定開催時間を空欄にしてください（図 3 ③ 二段目、三段目）。入場時刻・退場時刻とも会員カード読取を行った時刻が記録されます。出席時間は退場時刻－入場時刻となります。

※5 学会雑誌の会告等に掲載されているセミナー概要やプログラムを入力して下さい。また、pdf ファイルを添付する機能（同ページの下段）もありますので、学会雑誌の会告等を pdf 化して登録しておくと、セミナー内容を参照するのに便利です。

※6 正式な名称を入力して下さい。

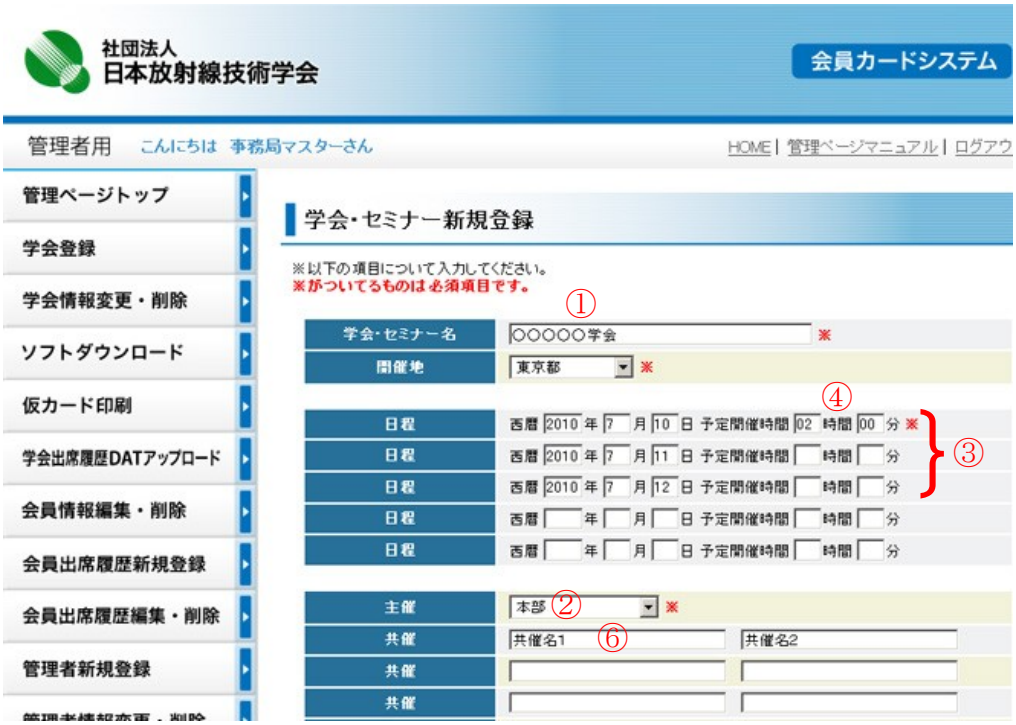


図 3　学会・セミナー等の登録例

2)　出席記録仮カードの印刷【**仮カード印刷**】

会員カードを所持していない場合の対応として、手入力は一切できません。開催前日までに出席記録仮カードを必要枚数分 印刷してください。会員カードを所持していない方 一人に対して 1 枚の出席記録仮カードが必要です。運用初期には忘れる方が多数おられると思いますので、多目に準備してください（A4 用紙一枚で 10 枚の出席記録仮カードが印刷できます)。

図 4 に出席記録仮カードを示します。印刷設定について、図 5 に示すインターネットオプションにて「背景の色とイメージを印刷する」または図 6 に示すページ設定（用紙サイズ：A4、用紙方向：縦、背景の色とイメージを印刷する、拡大・縮小しない）に注意してください。

図 4　出席記録仮カード

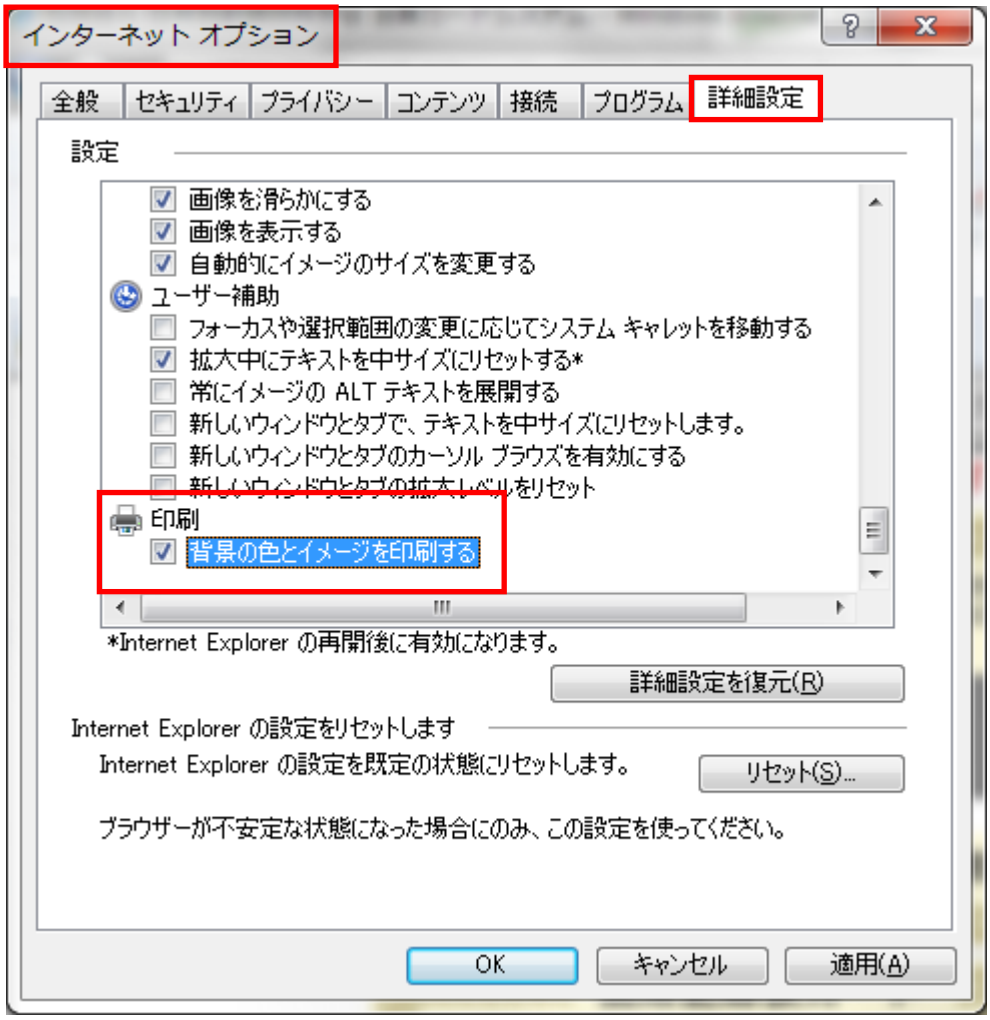


図 5　インターネットオプションの設定

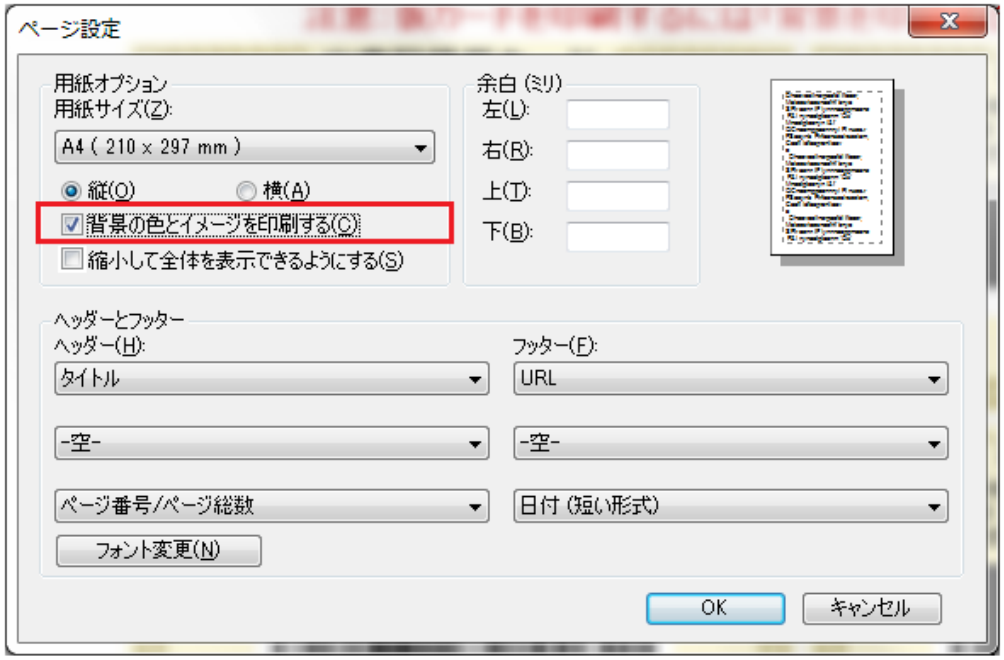


図 6　印刷時のページ設定

3) 会員カード読取ソフトのダウンロード**【ソフトダウンロード】**
開催前日までに会員カード読取ソフト（バーコード読取ソフト）をダウンロードしてください。必要なファイルは以下の 4 つです。①～③はすべての学会・セミナーで共通ですが、④は開催する学会・セミナーごとにファイルが異なります。
① Adobe AIR
② cardsystem Folder
③ cardsystem.air
④ xml ファイル（開催する学会・セミナーごとにファイルが異なります）
※ ダウンロードの詳細は次節を参照ください。

4) 機材・備品の準備
「3. 準備する機材・備品」の項目を参照いただき、開催当日（受付開始）までに準備してください。

5) 会員カード読取ソフトのインストール
開催当日（受付開始）までにバーコードリーダ接続用 PC に会員カード読取ソフト（バーコード読取ソフト）をインストールしてください。できれば前日までにインストールしておくことを推奨いたします。
※ インストールの詳細は次節を参照ください。

6) 動作確認
開催当日（受付開始）までにバーコードリーダ接続用 PC とバーコードリーダの接続を行い、出席記録仮カードでモニタ画面の表示ならびに動作音の確認を行ってください。
読み取りテストに使用した出席記録仮カードはテスト後 必ず破棄してください。
前日に読み取りテストを行った場合、cardsystem フォルダ内に data.dat というファイルが生成され、前日の日付でデータが残りますので、そちらも必ず削除してください。
※ バーコードリーダ接続の詳細は次々節を参照ください。

7) 会員カードシステム登録受付の設置
開催当日（受付時）は、会員カードシステム登録用の受付を設置していただき、出席記録仮カードを渡す準備を行ってください（出席記録仮カードの印刷は前日までに）。出席記録仮カードは、当日 会員カードを所持していない方へ 1 枚ずつ配布し、出席登録（バーコード読み取り）を行ってください。
この出席記録仮カードは、後日 会員カードシステムへ本登録する際に必要です。万一、紛失された場合には出席履歴の本登録ができません。また、配布した学会・セミナーでのみ有効ですので、本登録完了後に破棄してください。（詳細は会員個人へ配布される使用説明書に掲載されています。）

8) 出席履歴データの取り出し
学会・セミナーの終了後に、バーコードリーダ接続用 PC に自動生成された出席履歴データ（ディレクトリ：マイドキュメント → cardsystem フォルダ内、ファイル名：data.dat）を USB メモリや CD-R 等にコピー※1~3 してください。このファイルに出席履歴データがすべて記録されています。サーバ（会員カードシステム）へのアップロードが完了するまで、取り扱いに注意してください。
※1 data.dat ファイルは**開けない**でください。
※2 複数のバーコードリーダ＋PC を使用した場合、各 PC には同じファイル名

の data.dat が自動生成されますが、それぞれのファイルには異なる出席履歴データが記録されています（サーバへのアップロードには、すべての data.dat ファイルが必要です）。1 つの USB メモリにまとめる等の処理をされる場合は、くれぐれも**上書きしないように**注意してください。たとえば ①フォルダを分けて data.dat を 1 つずつコピーする。 ②ファイル名を data1.dat、data2.dat、… のようにリネームした後、コピーする。などの処理を行ってください。

※3 バーコードリーダ接続用 PC をそのままインターネットに接続して、サーバ（会員カードシステム）へアップロードされる場合には、出席履歴データの取り出しは必要ありません。

9) 出席履歴データのアップロード**【学会出席履歴 DAT アップロード】**

学会・セミナーの終了後 1 週間以内に、出席履歴データ（前項の data.dat ファイル）をサーバ（会員カードシステム）へアップロードしてください※1~4。期間が過ぎると登録できなくなります。

アップロードの手順として、図 7 に示すように、まずアップロードする学会・セミナー名称を選びます（これは本節 第 1 項で登録したものです）。次に図 8 に示すように、参照ボタンからアップロードしたい data.dat ファイルを選び、DAT を登録するボタンで確定します。

※1 出席記録仮カードによる出席履歴データは、アップロード中にその旨 メッセージが出ますが、そのまま登録してください。

※2 複数の data.dat ファイルがある場合は、続けて登録を行ってください。（一連のアップロードで、すべての data.dat ファイルを登録してください。）

※3 複数の data.dat のファイル名は、すべて同じ（前項 ※2 ①の場合）でも、異なっていても（前項 ※2 ②の場合）かまいません。

※4 アップロード完了後、バーコードリーダ接続用 PC に残っている data.dat ファイルを必ず削除してください（これを削除せずに、次回の学会・セミナーで読み取りを行うと、古い出席データも一緒に記録されてしまいます）。

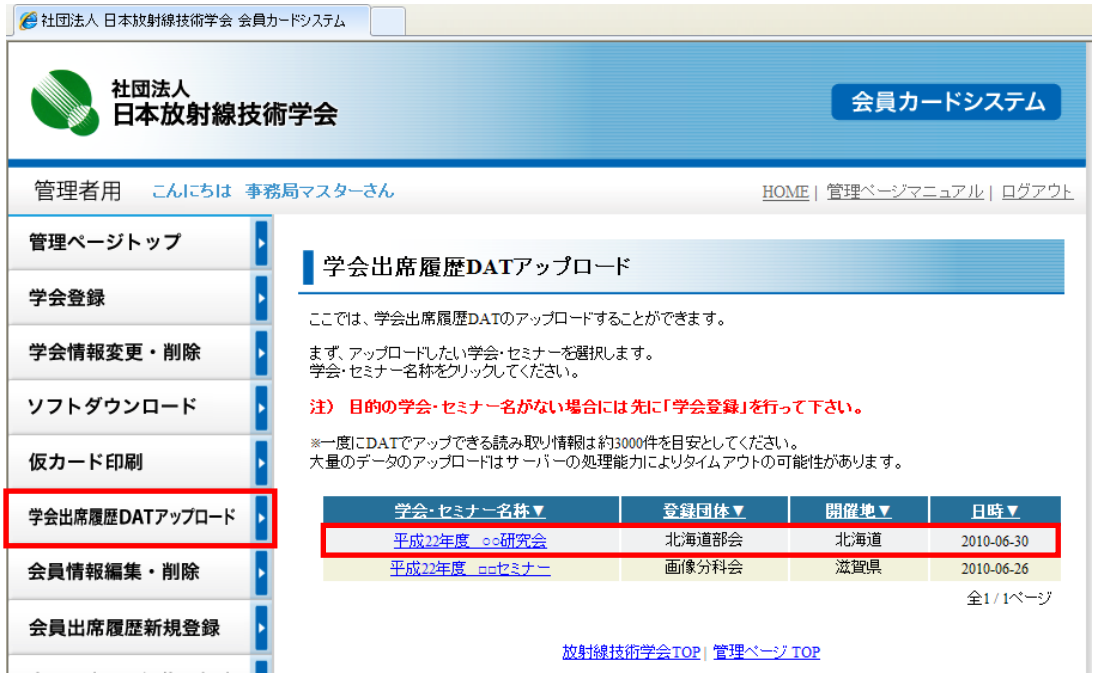


図 7 学会出席履歴 DAT アップロード画面（学会・セミナー名称の選択）

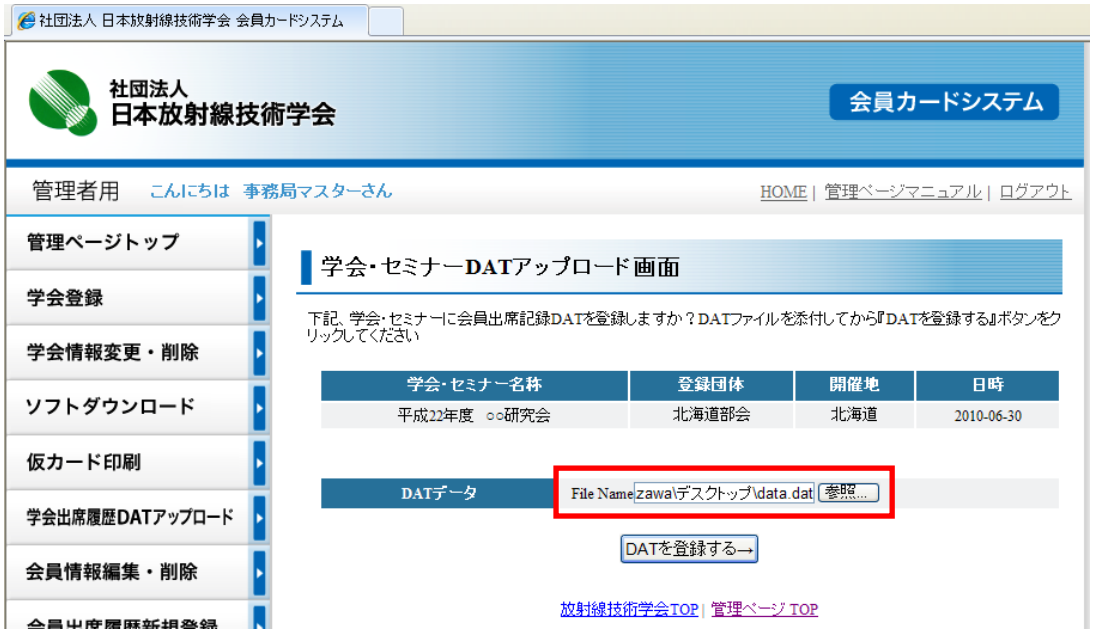


図 8　学会出席履歴 DAT アップロード画面（data.dat ファイルの選択）

10）　会員出席履歴の修正**【会員出席履歴編集・削除】**

学会・セミナーに出席された会員の出席履歴に誤りがある場合、修正を行ってください。修正できる項目は、入場時刻・退場時刻のみです。（ただし、予定開催時間が入力されている学会・セミナーの場合、修正できる項目は入場時刻のみです。退場時刻には、修正した入場時刻＋予定開催時間が自動入力されます。）

また、出席履歴を削除した場合、元に戻す権限がありません。何らかの理由により、出席履歴そのものを削除する場合には、注意してください。

出席履歴を新規に登録する場合（削除した出席履歴を元に戻す場合も）は、学会事務局にて対応しますのでご連絡ください。

11）　開催前後の大まかな流れ

前日までの準備	開催当日（受付開始）までの準備	終了後
1. 学会・セミナー情報の登録 2. 出席記録仮カードの印刷 3. 会員カード読取ソフト（バーコード読取ソフト）のダウンロード	1. 機材・備品の準備 2. PC に読取ソフトをインストール 3. PC にバーコードリーダを接続 4. モニタ画面の表示ならびに動作音の確認 5. 会員カードシステム登録受付の設置	1. PC からの会員出席履歴データの取り出し 2. 会員出席履歴データのアップロード（1 週間以内） 3. 会員出席履歴の修正（必要があれば） 4. PC 内の data.dat ファイルの削除

5. 会員カード読取ソフトのダウンロードとインストール

1） Adobe AIR のインストール

【ソフトダウンロード】ページより、外部の Adobe AIR ダウンロードサイトに移動します（図 9、10）。

図 9　Adobe AIR のダウンロードを選択

アカウント | ショッピングカート | お問い合わせ | 日本(変更)
ソリューション　製品　サポート　コミュニティ　会社情報　ダウンロード　ご購入
ホーム / ダウンロード / Adobe AIR /
Adobe AIR
最新バージョンのAdobe AIRをダウンロード
Adobe AIR は、エンドユーザがお気に入りの Web アプリケーションをいつでも利用できる環境を実現します。
Adobe AIR 2.0.2 インストーラ
Windows , 日本語 | 11.56 MB
別のオペレーティングシステムをお使いですか？
さらに詳しく | 必要システム構成 | Adobe AIRを配布
今すぐダウンロード
「今すぐダウンロード」ボタンをクリックすると、ソフトウェア使用許諾契約書に同意したものとみなされます。

図 10　外部の Adobe AIR ダウンロードサイト

今すぐダウンロード（図 10）をクリックして、デスクトップにインストーラをダウンロードします（図 11）。

図 11　Adobe AIR インストーラのダウンロード

ダウンロードされたインストーラ アイコン（図 11）をダブルクリックして、インストールを実行します。

2）　cardsystem Folder の設置

【ソフトダウンロード】ページより、cardsystemFolder をクリックしてダウンロードを開始します（図 12）。

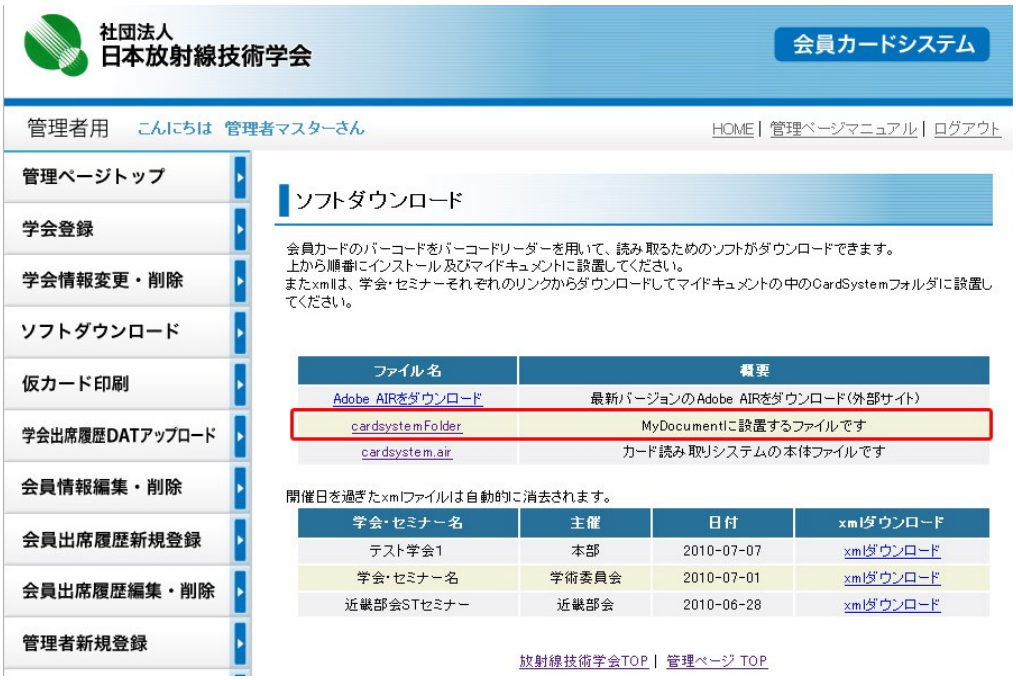


図 12　cardsystemFolder のダウンロードを選択

ダウンロードされた cardsystemFolder.zip ファイルを解凍します（図 13）。ZIP ファイルの解凍には Lhaplus などの解凍ソフトをご利用ください。

図 13　cardsystemFolder.zip の解凍

解凍された「cardsystem」というフォルダ※をそのまま「マイドキュメント」にドラック＆ドロップで移動します。「マイドキュメント」は Windows のバージョンによって、フォルダ名が「ドキュメント」の場合もあります。また、MacOS では「書類」になります（図 14）。

※ 解凍ソフトによっては、「cardsystemFolder」というフォルダを新規に作成し、その中に「cardsystem」フォルダを解凍するタイプがあります。この場合でも「マイドキュメント」に移動するのは「cardsystem」フォルダですので、お間違えの無いよう注意してください。

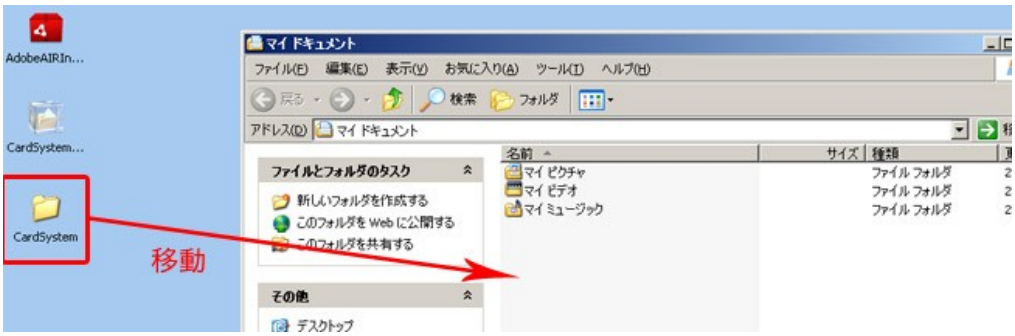


図 14　「cardsystem」フォルダを「マイドキュメント」に移動

```
マイドキュメント-----CardSystem-----+---Datacheck.html
（ドキュメント）                    |
                                    +---jquery.js
                                    |
                                    +---setting.xml（学会・セミナーごとに差し替え）
                                    |
                                    +---data.dat（入・退場時刻が記録されるファイル）
                                       ※バーコードの読み取りを開始すると自動生成されます。
                                       ※会員カードシステムへアップロード後に必ず削除する。
```

3）　cardsystem.air のインストール

【ソフトダウンロード】ページより、cardsystem.air をクリックしてダウンロードを開始します（図 15）。

図 15　cardsystem.air のダウンロードを選択

ダウンロードされた cardsystem.zip ファイルを解凍します（図 16）。ZIP ファイルの解凍には Lhaplus などの解凍ソフトをご利用ください。

図 16　cardsystem.zip の解凍

解凍された「cardsystem.air」というインストーラ アイコン（図 17）※をダブルクリックして、インストールを実行します。

※ 解凍ソフトによっては、「cardsystem」というフォルダを新規に作成し、その中に「cardsystem.air」インストーラを解凍するタイプがあります。

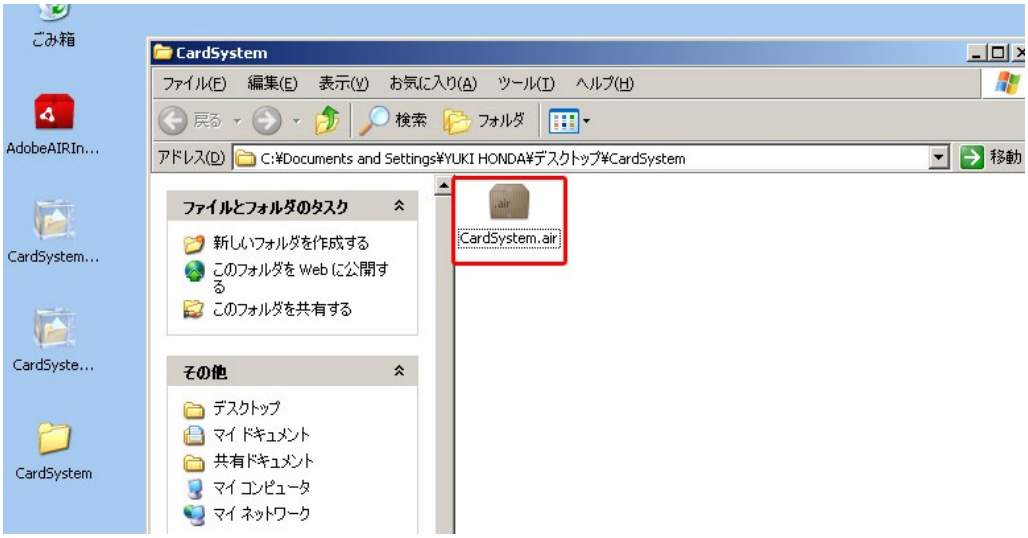


図 17　cardsystem.air のインストール

インストール完了後、自動的に会員カード読取ソフト（バーコード読取ソフト）が起動しますが、ここでは画面右上の×印でウィンドウを閉じて終了させてください。

4）　学会・セミナー名入り xml ファイルの設定

【ソフトダウンロード】ページの下部のリストより、開催する学会・セミナー名の右側の xml ダウンロードをクリックして、ダウンロードを開始します（図 18）。学会・セミナーの登録が済んでいても、開催日より 1 ヶ月以上前にはリストに表示されませんのでダウンロードできません。

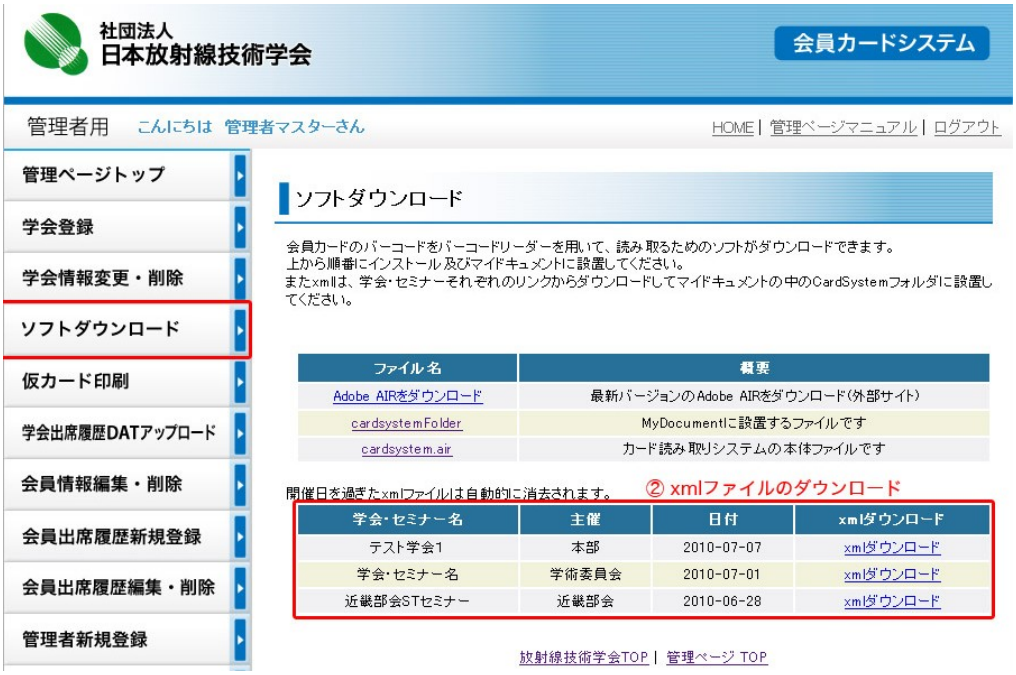


図 18　xml ダウンロードを選択

ダウンロードされたデスクトップ上の「setting.xml」ファイルを、5－2）で設置した「マイドキュメント」フォルダ内の「cardsystem」フォルダ内にドラック＆ドロップで移動します。デフォルト状態で、同名のファイルが既にあるので上書きして差し替えます（図 19）。

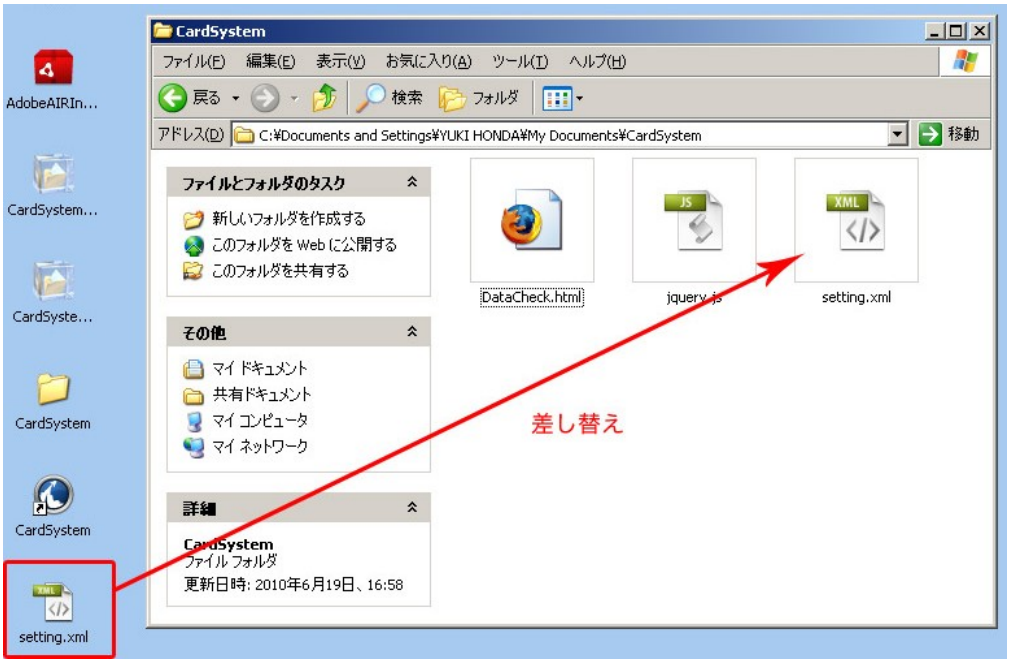


図 19　「cardsystem」フォルダに「setting.xml」ファイルを移動

5)　インストールの確認

すべてのダウンロード・インストールが終わりましたら、5－3）でデスクトップに作成された「cardsystem」のショートカット アイコンをダブルクリックして、会員カード読取ソフト（バーコード読取ソフト）を起動してください。

画面左上に開催する学会・セミナー名が正しく表示されているか確認します。また、日付はインストールした PC の内部時計で表示されるため、誤っている場合は日付と時刻のプロパティを確認してください（図 20）。

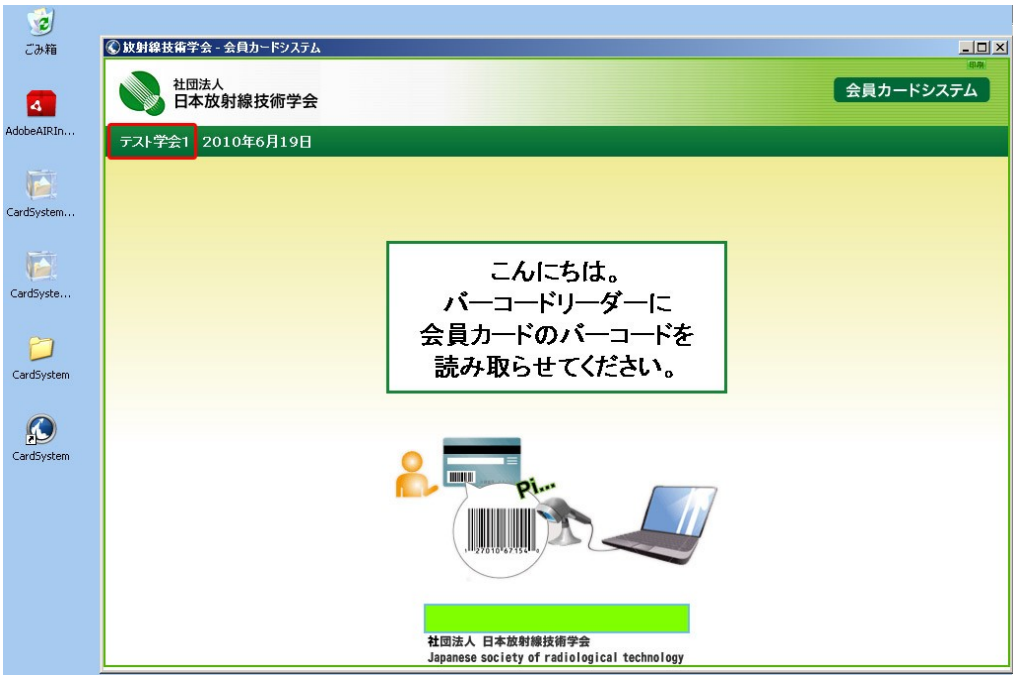


図 20　インストールの確認

以上で会員カード読取ソフトのインストールは完了です。画面右上の×印でウィンドウを閉じて終了させてください。

※ 会員カード読取ソフトのインストールはオフライン（インターネット非接続環境）でも可能です。あらかじめオンライン（インターネット接続環境）にて必要なファイル（計 4 つ）をダウンロードしておき、オフラインにてインストールを行ってください。手順は同じです。

※ 一度、会員カード読取ソフトのインストールが完了した PC を、別の学会・セミナー等で使用する場合には、5－4）の「学会・セミナー名入り xml ファイル（setting.xml）」の差し替え（上書き）のみで動作します。再度すべてのインストールは必要ありません。

6. バーコードリーダの接続および動作確認（画面表示と動作音）

1） 会員カード読取ソフトのインストールが完了した PC の USB ポートへ、バーコードリーダを接続し、会員カード読取ソフトを起動します（図 21）。

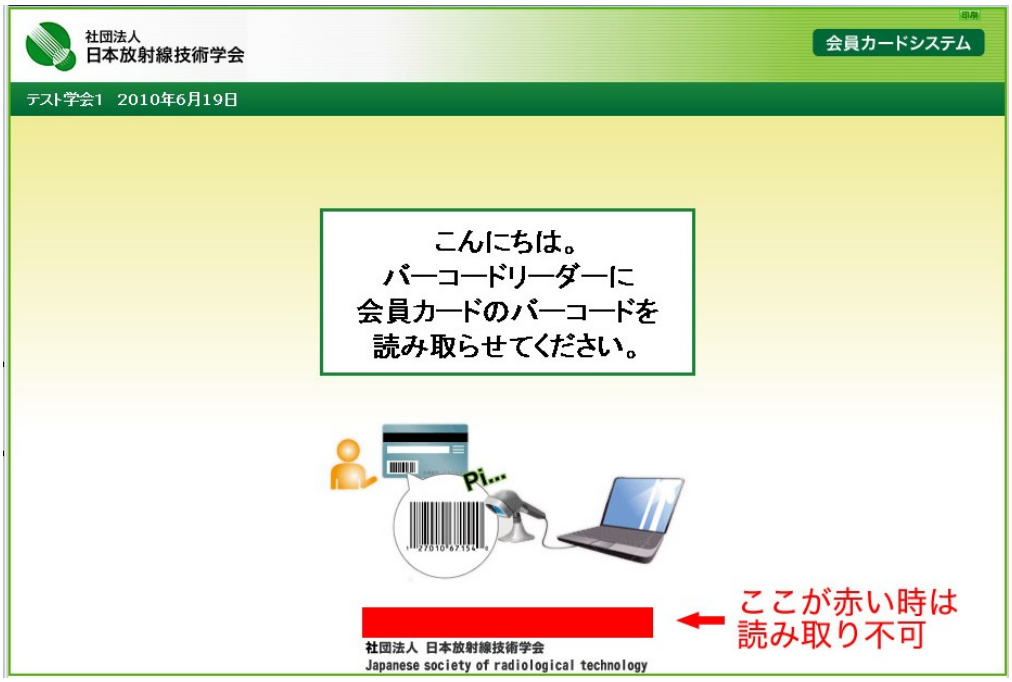


図 21　起動直後の画面（読み取り不可の状態）

2） 画面下のエリアが「赤」になっている場合は、長方形の赤い部分をクリックして、読み取り準備完了サインの「グリーン」にしてください（図 22）。

※ PC の文字入力は必ず「**半角英数字**」に設定してください。

※ Caps Lock キーは必ずオフにしてください。

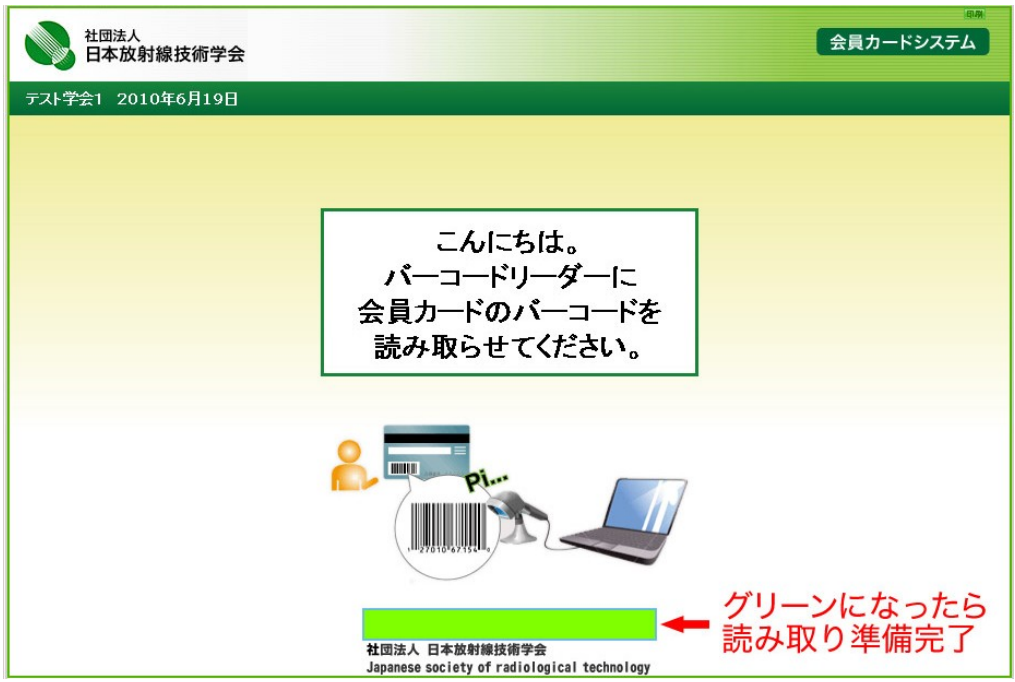


図 22　読み取り準備完了の画面

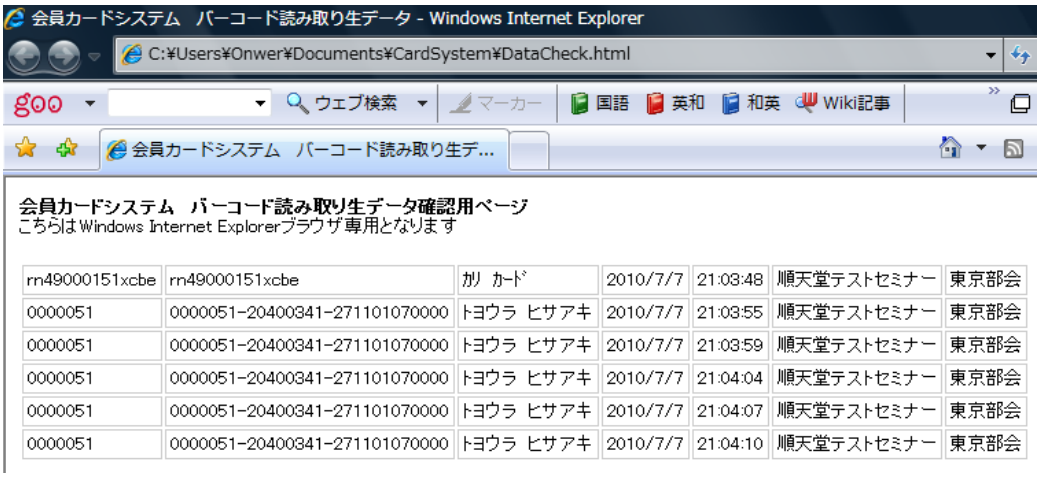
3) バーコードリーダで会員カードのバーコードを読み取り、以下の画面が表示されれば出席登録は完了です（図 23）。
また、正しく読み取れれば「ピッ」、読み取りエラーの場合は「ブー」という動作音が、PC のスピーカーから鳴ります。音量が最大（適切）か確認してください。
※ 会員の方へ、会員番号・氏名が正しいか確認する旨、注意を促してください。

図 23　会員カードのバーコードが正しく読み取れた場合の表示

4) 読み取りエラーの場合は、少し時間をおいて（15 秒程度）、再度 読み取りを行ってください（図 24）。
※ 誤って 2 回以上の読み取りが行われた場合、入場時はより早い時刻が、退場時はより遅い時刻が登録されます。

図 24　読み取りエラーの表示

5) 出席証明書の印刷ならびに出席登録中の data.dat データの表示は、Windows OS では最新の Internet Explorer に、Mac OS では最新の Safari に対応しています。ブラウザで「Cardsystem」フォルダ内の「Datacheck.html」を開くと、バーコード読み取りが済んだ会員の一覧が確認できます（図 25）。



rn49000151xcbe	rn49000151xcbe	ｶﾘ ｶｰﾄﾞ	2010/7/7	21:03:48	順天堂テストセミナー	東京部会
0000051	0000051-20400341-271101070000	トヨウラ ヒサアキ	2010/7/7	21:03:55	順天堂テストセミナー	東京部会
0000051	0000051-20400341-271101070000	トヨウラ ヒサアキ	2010/7/7	21:03:59	順天堂テストセミナー	東京部会
0000051	0000051-20400341-271101070000	トヨウラ ヒサアキ	2010/7/7	21:04:04	順天堂テストセミナー	東京部会
0000051	0000051-20400341-271101070000	トヨウラ ヒサアキ	2010/7/7	21:04:07	順天堂テストセミナー	東京部会
0000051	0000051-20400341-271101070000	トヨウラ ヒサアキ	2010/7/7	21:04:10	順天堂テストセミナー	東京部会

図 25　出席登録中の data.dat データの確認

6) 「バーコードリーダ」と「カード台」のセッティング例を示します。図のようにセッティングし、カード台に会員カードを乗せると、バーコードリーダとの距離が適切になり、読み取りエラーが減少します。
　バーコードリーダをほぼ垂直に立て、バーコードリーダ支持器と会員カード台の距離を調整します（ほぼ接します）。距離が近すぎるとエラーになるため、微調整をお願い致します（図 26）。

図 26　バーコードリーダと会員カード台のセッティング例

お問い合わせ先（学会事務局）
公益社団法人　日本放射線技術学会
Japanese Society of Radiological Technology
〒600-8107
京都市下京区五条通新町東入東錺屋町 167　ビューフォート五条烏丸
Tel　075-354-8989　　E-mail　members@jsrt.or.jp